# (一社)北海道商工会議所連合会 中**小企業景況調査報告書**

### 第179回 調査概要

調査対象期間 : 2025年7~9月期 実績

2025年10~12月期 見通し

•回答数 : 364社

•発行日: 2025年10月28日

### 今期業況・来期見通し

道内景気は緩やかな回復に足踏みがみられる。価格転嫁実施も原材料費等の高止まり、最低賃金引き上げ等が収益圧迫。消費活動に停滞感がみられ、さらなる価格転嫁に二の足を踏む先が多い。

#### ■主なコメント

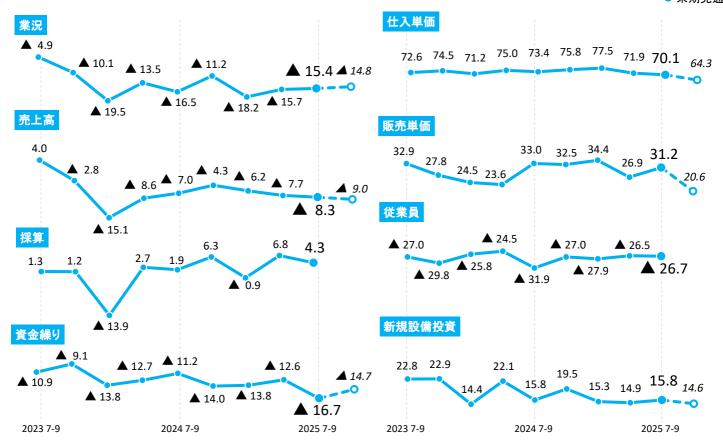
- ・競合激化により売上減少する中、原材料価格高騰・最低賃金引上げ等により採算が悪化。2年連続製品の値上げを行ったが、 収益性の改善につながらず赤字が継続している。 (食品製造業)
- ・業績に改善はみられないが、最低賃金の引上げや社会保険料の増加・物価高騰に対応するため、また、社員のモチベーション 維持のため、賃金のベースアップを行っている。 (建設業)
- ・商品の値上がりによる単価アップが買い上げ点数減少を招いている。今夏の猛暑による農作物への影響がさらなる価格上昇に繋がらないか不安である。 (食品小売)

### ■全産業D·I

	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	<b>2025</b> 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	<b>▲</b> 4.9	▲ 10.1	▲ 19.5	<b>1</b> 3.5	<b>▲</b> 16.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 15.7	▲ 15.4	<b>▲</b> 14.8
売上高 (前年同期比)	4.0	▲ 2.8	▲ 15.1	▲ 8.6	<b>▲</b> 7.0	<b>▲</b> 4.3	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 8.3	<b>4</b> 9.0
採算 (今期の経常損益)	1.3	1.2	<b>1</b> 3.9	2.7	1.9	6.3	▲ 0.9	6.8	4.3	_
資金繰り(前年同期比)	▲ 10.9	<b>▲</b> 9.1	<b>▲</b> 13.8	<b>▲</b> 12.7	<b>▲</b> 11.2	<b>1</b> 4.0	<b>▲</b> 13.8	<b>▲</b> 12.6	<b>▲</b> 16.7	<b>▲</b> 14.7
仕入単価(前年同期比)	72.6	74.5	71.2	75.0	73.4	75.8	77.5	71.9	70.1	64.3
販売単価 (前年同期比)	32.9	27.8	24.5	23.6	33.0	32.5	34.4	26.9	31.2	20.6
従業員 (今期の過不足)	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 25.8	<b>▲</b> 24.5	▲ 31.9	▲ 27.0	<b>▲</b> 27.9	▲ 26.5	▲ 26.7	_
新規設備投資した割合	22.8	22.9	14.4	22.1	15.8	19.5	15.3	14.9	15.8	14.6

※D·Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



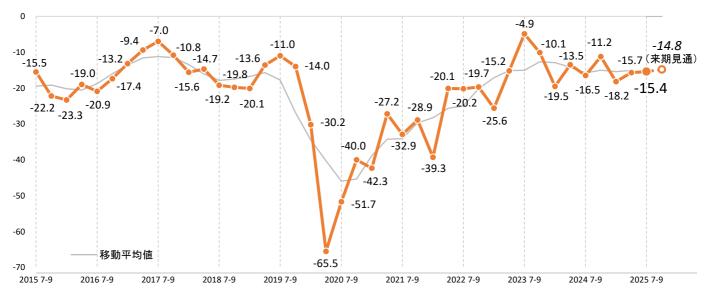
# I. 業 況

### 1. 今期

### 前年同期比

### (2024年7~9月期の水準と比較した今期の業況)

#### 全業種平均D·I ≪好転一悪化≫



#### 業種別D·I值

▲ 15.4 ▲ 21.5	14.4%	5 54.9	5.8% 9%		29.8%	▲ 15.7 ▲ 35.3
		54.9	9%		33.3%	▲ 35.3
<b>A</b> 00 0						
▲ 20.3	13.5%	52.	7%		33.8%	▲ 7.0
▲ 16.1	10.7%	6.	2.5%		26.8%	▲ 21.0
▲ 17.7	17.6%	47	7.1%		35.3%	▲ 5.9
▲ 1.1	18.5%		61.9%		19.6%	▲ 9.3
4	17.7	17.7 17.6%	17.7 <b>17.6%</b> 47	17.7 17.6% 47.1% 47.1% 61.9%	17.7 17.6% 47.1% 61.9%	17.7 17.6% 47.1% 35.3%

# ■好転 □不変 ■悪化

### 前期比 (2025年4~6月期の水準と比較した今期の業況)

	今回		内訳		前回
全業種	<b>▲</b> 11.4	14.9%	58.8%	26.3%	<b>▲</b> 12.0
製造	▲ 18.4	12.2%	57.2%	30.6%	<b>▲</b> 24.0
建設	<b>▲</b> 9.6	19.2%	52.0%	28.8%	<b>▲</b> 7.0
卸売	<b>▲</b> 14.6	12.7%	60.0%	27.3%	▲ 21.0
小売	▲ 15.2	12.1%	60.6%	27.3%	0.0
サービス	1.1	18.5%	64.1%	17.4%	▲ 8.3

### 今期の水準 (2025年7~9月期の水準)

業種別D·I値

	今回		内	訳		前回
全業種	▲ 22.6	14.9%	47.6%		37.5%	▲ 16.4
製造	▲ 36.6	11.5%	40.4%		48.1%	▲ 38.5
建設	▲ 21.6	14.9%	48.6%		36.5%	▲ 12.7
卸売	▲ 25.0	14.3%	46.4%		39.3%	▲ 14.0
小売	▲ 16.4	16.4%	50.8%		32.8%	▲ 1.4
サービス	<b>▲</b> 13.2	17.6%	51.6%		30.8%	<b>▲</b> 15.3

### ■良い □ふつう ■悪い

### 2. 来期

前年同期比	(2024年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D•I値

	今回		内訳		前回
全業種	<b>▲</b> 14.8	12.6%	60.0%	27.4%	▲ 10.5
製造	▲ 20.4	10.2%	59.2%	30.6%	▲ 28.5
建設	▲ 21.5	11.4%	55.7%	32.9%	▲ 9.8
卸売	▲ 20.0	10.9%	58.2%	30.9%	▲ 16.1
小売	<b>▲</b> 7.4	17.6%	57.4%	25.0%	▲ 1.4
サービス	<b>▲</b> 4.4	13.0%	69.6%	17.4%	3.2

■好転 □不変 ■悪化

# 今期比 (2025年7~9月期の水準と比較した来期の見通し)

	今回		内訳		前回
全業種	<b>▲</b> 7.5	14.1%	64.3%	21.6%	<b>▲</b> 9.1
製造	▲ 8.4	8.3%	75.0%	16.7%	▲ 27.1
建設	▲ 15.5	11.3%	61.9%	26.8%	<b>▲</b> 13.0
卸売	▲ 5.5	20.0%	54.5%	25.5%	<b>▲</b> 12.3
小売	▲ 11.5	16.4%	55.7%	27.9%	4.6
サービス	3.4	14.6%	74.2%	11.2%	2.2

■好転 □不変 ■悪化

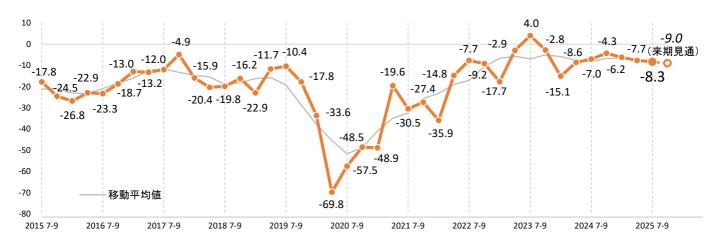
### Ⅱ. 売上高

### 1. 今期

### 前年同期比

### (2024年7~9月期の水準と比較した今期の売上高)

### 全業種平均D·I ≪増加一減少≫



#### 業種別D·I値

	今回		内訳		前回
全業種	▲ 8.3	26.0%	39.7%	34.3%	▲ 7.7
製造	<b>▲</b> 23.1	19.2%	38.5%	42.3%	<b>▲</b> 17.3
建設	▲ 28.3	17.6%	36.5%	45.9%	▲ 20.0
卸売	<b>▲</b> 10.7	21.4%	46.5%	32.1%	▲ 15.8
小売	10.3	39.7%	30.	9% 29.4%	10.3
サービス	9.9	31.9%	46.	1% 22.0%	4.0

■増加 □不変 ■減少

### 前期比 (2025年4~6月期の水準と比較した今期の売上高)

### 業種別D·I値

	今回		内訳		前回
全業種	▲ 5.3	26.8%	41.1%	32.1%	0.6
製造	▲ 25.0	15.4%	44.2%	40.4%	▲ 7.7
建設	<b>▲</b> 2.7	28.4%	40.5%	31.1%	▲ 8.6
卸売	<b>▲</b> 14.3	23.2%	39.3%	37.5%	1.7
小売	5.9	32.4%	41.1%	26.5%	16.4
サービス	9.8	34.8%	40.2%	25.0%	1.0

■増加 □不変 ■減少

### 2. 来期

### 前年同期比 (2024年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

### 業種別D∙I値

	今回		内訳		前回
全業種	<b>▲</b> 9.0	20.4%	50.2%	29.4%	<b>▲</b> 4.6
製造	<b>▲</b> 14.0	20.0%	46.0%	34.0%	<b>▲</b> 27.5
建設	▲ 20.6	20.5%	38.4%	41.1%	▲ 8.5
卸売	▲ 10.8	19.6%	50.0%	30.4%	3.5
小売	2.9	23.5%	55.9%	20.6%	7.3
サービス	<b>▲</b> 2.2	18.5%	60.8%	20.7%	2.1

# Ⅲ. 採算(経常利益)

### 1. 今期

### 今期の水準

(2025年7~9月期の水準)

### 全業種平均D·I ≪黒字-赤字≫



#### 業種別D∙I値

	今回		内訳		前回
全業種	4.3	29.2%	45.9%	24.9%	6.8
製造	<b>▲</b> 11.5	21.2%	46.1%	32.7%	<b>▲</b> 9.6
建設	16.2	39.2%	37.8%	23.0%	15.5
卸売	8.9	32.1%	44.7%	23.2%	3.5
小売	1.5	25.0%	51.5%	23.5%	13.2
サービス	6.6	28.6%	49.4%	22.0%	11.3

### ■黒字 □収支トントン ■赤字

### 前年同期比 (2024年7~9月期の水準と比較した今期の採算)

#### 業種別D∙I値

	今回		内訳		前回
全業種	<b>▲</b> 18.5	15.2%	51.1%	33.7%	<b>▲</b> 17.5
製造	<b>▲</b> 29.4	11.8%	47.0%	41.2%	<b>▲</b> 34.6
建設	▲ 25.7	10.8%	52.7%	36.5%	<b>▲</b> 16.9
卸売	<b>▲</b> 19.6	12.5%	55.4%	32.1%	<b>1</b> 0.5
小売	<b>▲</b> 9.0	20.9%	49.2%	29.9%	<b>▲</b> 11.8
サービス	▲ 8.8	19.8%	51.6%	28.6%	<b>▲</b> 13.5

### ■好転 □不変 ■悪化

### 2. 来期

### 前年同期比 (2024年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

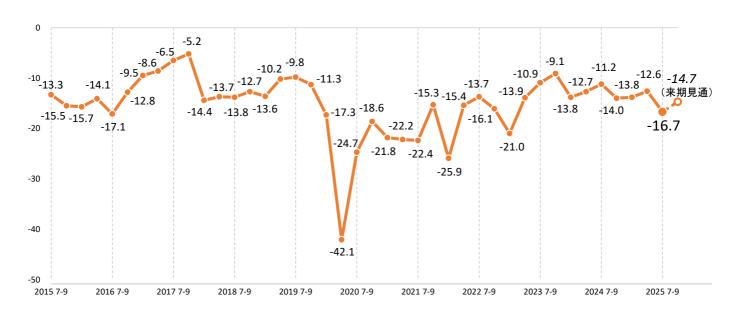
	今回		内訳		前回
全業種	▲ 15.1	12.8%	59.3%	27.9%	▲ 13.0
製造	▲ 20.0	8.0%	64.0%	28.0%	<b>▲</b> 21.6
建設	<b>▲</b> 17.8	13.7%	54.8%	31.5%	<b>▲</b> 14.0
卸売	<b>▲</b> 23.2	8.9%	59.0%	32.1%	<b>▲</b> 21.1
小売	<b>▲</b> 9.0	16.4%	58.2%	25.4%	0.0
サービス	<b>▲</b> 5.6	16.9%	60.6%	22.5%	▲ 8.3

# Ⅳ. 資金繰り

# 1. 今期

### 前年同期比

### (2024年7~9月期の水準と比較した今期の資金繰り)



### 業種別D·I値

	今回			内訳			前回	ij
全業種	▲ 16.7	5.5%	72	.3%	2:	2.2%	<b>▲</b> 12	6
製造	▲ 23.1	3.8%	69.3%	%	26.	9%	<b>▲</b> 19	.3
建設	▲ 18.9	2.7%	75.	7%	21.6%		<b>A</b> 5	.6
卸売	<b>▲</b> 7.4	5.6%		81.4%		13.0%	<b>A</b> 9	0.0
小売	▲ 20.9	7.5%	64.1	%	28.4	%	<b>▲</b> 16	.2
サービス	▲ 13.4	7.9%	7	0.8%	2	1.3%	<b>▲</b> 12	7

### ■好転 □不変 ■悪化

### 2. 来期

前年同期比	(2024年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

- N 12/17 - 1E	今回		内訳			前回
全業種	<b>▲</b> 14.7	5.6%	74.1%	2	.0.3%	▲ 8.2
製造	▲ 20.8	2.1%	75.0%	22	2.9%	▲ 17.7
建設	▲ 19.2	2.7%	75.4%	2	1.9%	▲ 2.8
卸売	▲ 11.1	3.7%	81.5%		14.8%	▲ 5.4
小売	<b>▲</b> 13.5	11.9%	62.7%	25.	4%	<b>▲</b> 7.3
サービス	▲ 8.9	7.8%	75.5%		16.7%	<b>▲</b> 7.5

# Ⅴ. 経営上の問題点(上位5項目)

製造業		前回
一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	27.9%	34.9%
需要の停滞	25.6%	18.6%
生産設備の不足・老朽化	9.3%	11.6%
人件費の増加	7.0%	7.0%
製品ニーズの変化への対応	7.0%	2.3%
表明一 ハの女に ジカル	7.070	1
		! ! !
建設業 従業員の確保難	28.1%	25.0%
材料単価の上昇	17.5%	25.0%
官公需要の停滞	12.3%	8.3%
民間需要の停滞	10.5%	8.3%
人件費の増加	5.3%	6.3%
八叶貝の坦加	5.5%	0.3/0
		1 1 1 1
卸売業	27.50/	00.40/
仕入単価の上昇	27.5%	36.1%
需要の停滞	22.5%	13.9%
人件費の増加	15.0%	8.3%
従業員の確保難	10.0%	11.1%
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	5.0%	0.0%
		: 
小売業		 
11人単価の上昇	30.0%	32.0%
人件費の増加	18.0%	12.0%
需要の停滞	16.0%	8.0%
人件費以外の経費の増加	10.0%	2.0%
従業員の確保難	6.0%	10.0%
		! ! !
サービス業		 
入件質の増加	20.0%	15.3%
人件費以外の経費の増加	15.4%	8.3%
材料等仕入価格の上昇	15.4%	18.1%
店舗施設の狭隘・老朽化	13.8%	9.7%
利用者ニーズの変化への対応	10.8%	9.7%
	10 20 30 40 50 60	70

# WI. 従業員の動向

	今回			内訳			前回	
全業種	▲ 26.7	2.7%	67.9%	6		29.4%	▲ 26.5	
製造	▲ 20.0	4.0 <mark>%</mark>	72.	.0%	24.0%		▲ 28.0	
建設	▲ 50.0	1.4%	47.2%		51.4%	51.4%		
卸売	▲ 20.4	0.0%	79.	6%		20.4%	<b>▲</b> 18.9	
小売	<b>▲</b> 13.4	<mark>4.5</mark> %		77.6%		17.9%	<b>▲</b> 13.7	
サービス	<b>▲</b> 29.7	3.6%	63.1%			33.3%	<b>▲</b> 28.7	

# Ⅲ. 新規設備投資

### 新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期 (単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	
実施した	15.8	13.5	21.6	12.5	20.6	10.9	
土地	7.4 14.3	14.3	12.5	0.0	0.0	10.0	
工場建物、建物、店舗	11.0	28.6	6.3	0.0	0.0	20.0	
生産・販売・サービス設備、建設機械	23.3 57.1	6.3	6.3 14.3	28.6	10.0		
車輌運搬具	41.4	41.4 28.6	81.3	14.3	42.9	40.0	
倉庫・駐車場等の付帯施設	9.7	14.3	0.0	14.3 0.0 57.1 42.9	0.0	20.0	
OA機器	43.3	42.9	43.8		42.9	30.0	
厚生施設		0.0	0.0	14.3	7.1	10.0	
その他		11.1	11.1 1	14.3	0.0	14.3	7.1
実施していない	84.2	86.5	78.4	87.5	79.4	89.1	

# 2. 来期

(単位%)

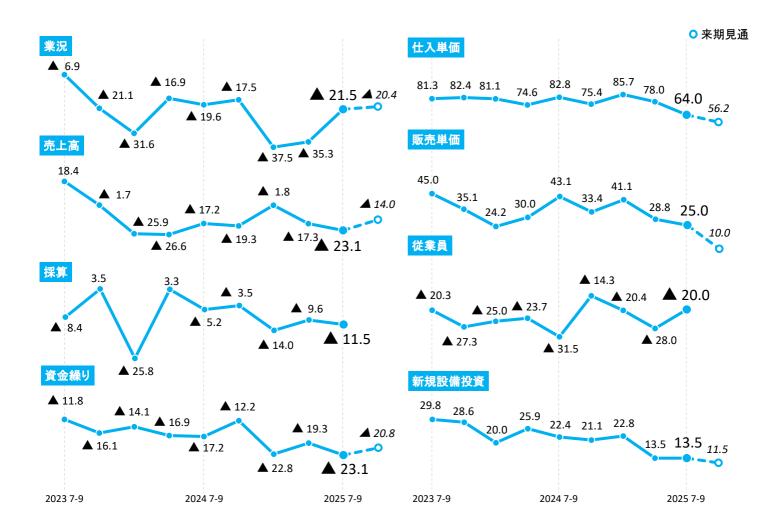
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	14.6	11.5	18.9	14.3	16.2	12.0
土地	6.1	0.0	21.4	0.0	0.0	9.1
工場建物、建物、店舗	15.5	0.0	7.1	25.0	36.4	9.1
生産・販売・サービス設備、建設機械	20.8 33.3 7.1	7.1	0.0	36.4	27.3	
車輌運搬具	24.3	33.3	42.9	0.0	0.0	45.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	6.5	0.0	14.3	0.0	9.1	9.1
OA機器	48.0	48.0 33.3	50.0	75.0	36.4	45.5
厚生施設	3.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.0	0.0	0.0	12.5	9.1	18.2
実施しない	85.4	88.5	81.1	85.7	83.8	88.0

#### ■主なコメント

- ・原材料費・電気・ガス等の値上げで経費負担が増加し、経営を圧迫。コスト上昇分を直ぐには価格転嫁できない状況のなか、 いかに普段の経費を節約していくかが課題。 (ビール製造)
- ・ラピダス関連の建設需要は非常に大きく、数年先までの受注が見込める。一方で、資材の供給不足や人材獲得競争の激化で舵取りに苦慮している。 (製造業
- ・人口減少に伴う需要の減少もさることながら、昨今の物価高に伴う経費増加がネックである。市で実施予定の商品券配布 助成事業に期待したい。 (菓子組合)

	_ T

	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	<b>2025</b> 10−12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 6.9	▲ 21.1	▲ 31.6	<b>▲</b> 16.9	▲ 19.6	<b>▲</b> 17.5	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 21.5	▲ 20.4
売上高 (前年同期比)	18.4	<b>▲</b> 1.7	▲ 25.9	▲ 26.6	<b>▲</b> 17.2	<b>▲</b> 19.3	▲ 1.8	<b>▲</b> 17.3	▲ 23.1	<b>14.0</b>
採算 (今期の経常損益)	▲ 8.4	3.5	▲ 25.8	3.3	▲ 5.2	▲ 3.5	<b>▲</b> 14.0	<b>▲</b> 9.6	<b>▲</b> 11.5	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 11.8	▲ 16.1	<b>▲</b> 14.1	<b>▲</b> 16.9	<b>▲</b> 17.2	▲ 12.2	▲ 22.8	▲ 19.3	▲ 23.1	<b>▲</b> 20.8
仕入単価(前年同期比)	81.3	82.4	81.1	74.6	82.8	75.4	85.7	78.0	64.0	56.2
販売単価 (前年同期比)	45.0	35.1	24.2	30.0	43.1	33.4	41.1	28.8	25.0	10.0
従業員 (今期の過不足)	▲ 20.3	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 31.5	<b>▲</b> 14.3	▲ 20.4	▲ 28.0	▲ 20.0	-
新規設備投資した割合	29.8	28.6	20.0	25.9	22.4	21.1	22.8	13.5	13.5	11.5

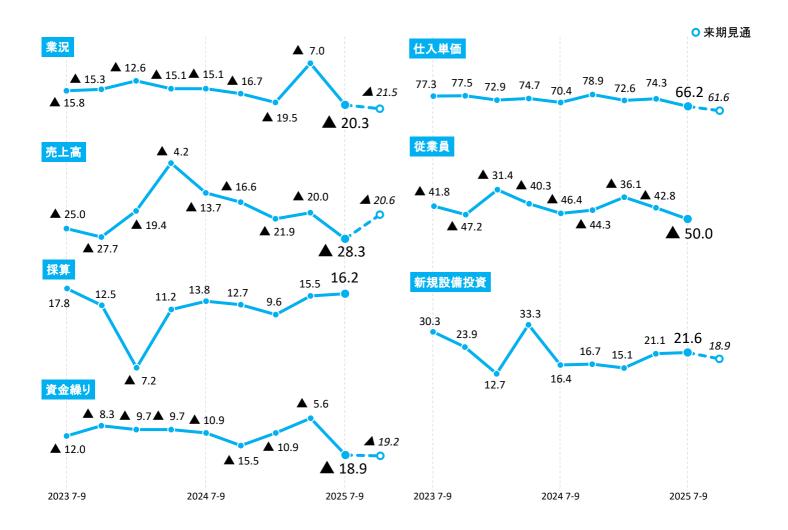


#### ■主なコメント

- ・元請先の建設会社がダンピング受注するため、当社の下請単価が低下し採算が悪化している。元請がダンピング競争を 止めない限り、下請け業者の淘汰が進むと考える。 (設備工事)
- ・人材確保のために初任給の引上げを検討しているが、既存の従業員とのバランスが取れなくなることから、給与体系の 見直しに着手した。 (ゼネコン)
- ・建築基準法改正における4号特例縮小により、建築確認申請に相当の時間がかかるようになった。受注は堅調だが、 以前より全体工程で2~3ヵ月延びている。 (建築工事)

#### ■D·I

	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	<b>2025</b> 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	<b>▲</b> 15.8	▲ 15.3	▲ 12.6	▲ 15.1	▲ 15.1	<b>▲</b> 16.7	▲ 19.5	▲ 7.0	▲ 20.3	<b>▲</b> 21.5
売上高 (前年同期比)	▲ 25.0	▲ 27.7	▲ 19.4	<b>▲</b> 4.2	▲ 13.7	▲ 16.6	▲ 21.9	▲ 20.0	▲ 28.3	▲ 20.6
採算 (今期の経常損益)	17.8	12.5	▲ 7.2	11.2	13.8	12.7	9.6	15.5	16.2	_
資金繰り(前年同期比)	<b>▲</b> 12.0	▲ 8.3	<b>▲</b> 9.7	<b>▲</b> 9.7	▲ 10.9	<b>▲</b> 15.5	▲ 10.9	<b>▲</b> 5.6	▲ 18.9	<b>▲</b> 19.2
仕入単価(前年同期比)	77.3	77.5	72.9	74.7	70.4	78.9	72.6	74.3	66.2	61.6
販売単価 (前年同期比)		-	-	-	_	-	-	-	-	_
従業員 (今期の過不足)	<b>▲</b> 41.8	<b>▲</b> 47.2	▲ 31.4	<b>▲</b> 40.3	<b>▲</b> 46.4	<b>4</b> 4.3	▲ 36.1	<b>▲</b> 42.8	▲ 50.0	_
新規設備投資した割合	30.3	23.9	12.7	33.3	16.4	16.7	15.1	21.1	21.6	18.9

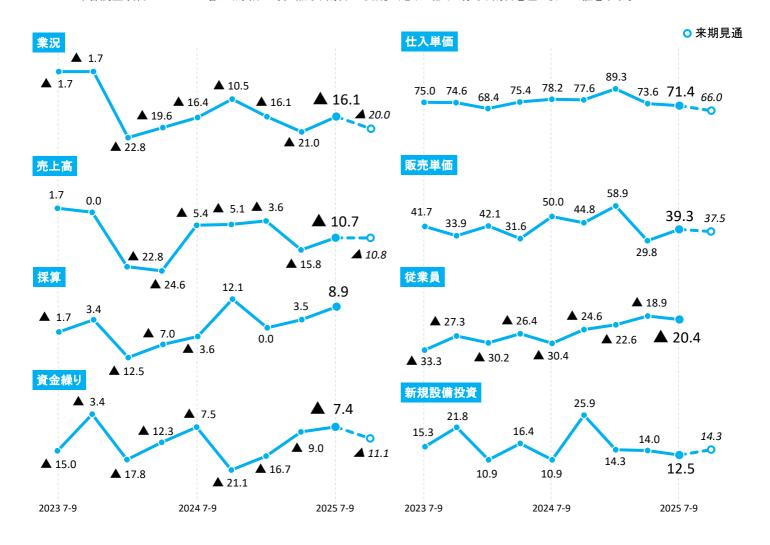


#### ■主なコメント

- ・公共工事の発注はあるものの、地場取引先の建設業者が請け負えるような中小の案件が少なく、収益に繋がらない。 (建設資材卸)
- ・ホテル等宿泊施設への海外からのインバウンド客は伸びている。一方、日本人観光客は減少しており、その点不安材料。 (食料・飲料卸)
- ・トランプ関税の影響により輸入品(食品)の国内流通価格が上昇する見通し。伴って仕入価格の上昇が見込まれ、どこまで 価格転嫁できるか不安視している。 (冷凍倉庫業)

. Т	_	$\neg$		

<b>-</b>										
	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 1.7	<b>▲</b> 1.7	▲ 22.8	▲ 19.6	▲ 16.4	▲ 10.5	▲ 16.1	▲ 21.0	▲ 16.1	<b>2</b> 0.0
売上高 (前年同期比)	1.7	0.0	▲ 22.8	▲ 24.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 3.6	▲ 15.8	▲ 10.7	<b>1</b> 0.8
採算 (今期の経常損益)	▲ 1.7	3.4	▲ 12.5	▲ 7.0	▲ 3.6	12.1	0.0	3.5	8.9	-
資金繰り(前年同期比)	<b>▲</b> 15.0	▲ 3.4	<b>▲</b> 17.8	<b>▲</b> 12.3	<b>▲</b> 7.5	▲ 21.1	<b>▲</b> 16.7	<b>▲</b> 9.0	<b>▲</b> 7.4	<b>1</b> 1.1
仕入単価(前年同期比)	75.0	74.6	68.4	75.4	78.2	77.6	89.3	73.6	71.4	66.0
販売単価 (前年同期比)	41.7	33.9	42.1	31.6	50.0	44.8	58.9	29.8	39.3	37.5
従業員 (今期の過不足)	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 30.2	▲ 26.4	▲ 30.4	▲ 24.6	▲ 22.6	▲ 18.9	▲ 20.4	_
新規設備投資した割合	15.3	21.8	10.9	16.4	10.9	25.9	14.3	14.0	12.5	14.3



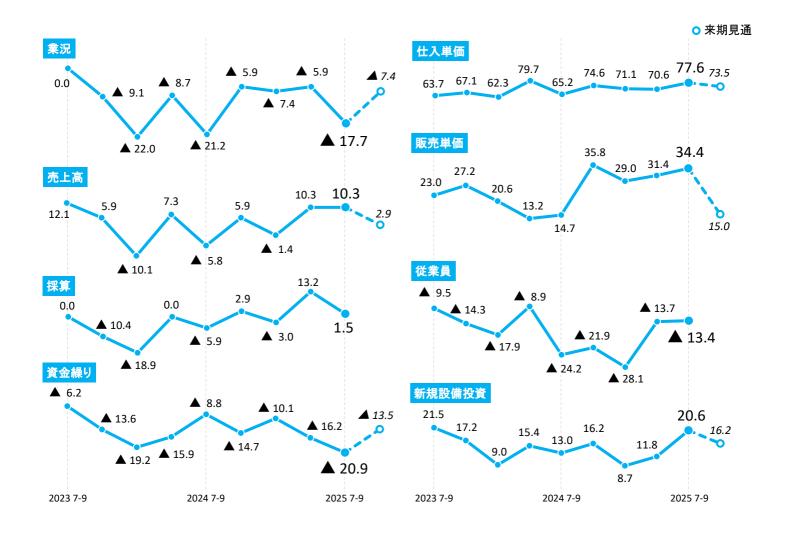
# 小売業

### ■主なコメント

- ・売上は前年比増加。今年は猛暑により冷たいドリンク需要が伸びたことに加え、新規顧客の来店も増加。一方で、原材料費の高騰が依然として続いており、利益率は改善していない。 (食料品小売)
- ・売上は前年を上回り堅調に推移。人材確保は採用が難航し、最低賃金の上昇に伴い人件費負担は増加傾向にあるが、 効率的なシフト運用と生産性向上で吸収を図っている。 (大型店)
- ・年々クレジット決済等が増えていることで、資金繰りに少なからず影響が出ている。在庫あっての商売ですが、在庫を持てなくなる危機感を覚えている。 (衣服等小売)

■D·I

	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	<b>2025</b> 10−12(見通)
業況 (前年同期比)	0.0	<b>▲</b> 9.1	▲ 22.0	▲ 8.7	▲ 21.2	<b>▲</b> 5.9	<b>▲</b> 7.4	<b>▲</b> 5.9	<b>▲</b> 17.7	<b>▲</b> 7.4
売上高 (前年同期比)	12.1	5.9	▲ 10.1	7.3	▲ 5.8	5.9	<b>▲</b> 1.4	10.3	10.3	2.9
採算 (今期の経常損益)	0.0	▲ 10.4	▲ 18.9	0.0	▲ 5.9	2.9	▲ 3.0	13.2	1.5	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 6.2	<b>▲</b> 13.6	<b>▲</b> 19.2	<b>▲</b> 15.9	▲ 8.8	<b>▲</b> 14.7	▲ 10.1	▲ 16.2	▲ 20.9	<b>▲</b> 13.5
仕入単価(前年同期比)	63.7	67.1	62.3	79.7	65.2	74.6	71.1	70.6	77.6	73.5
販売単価 (前年同期比)	23.0	27.2	20.6	13.2	14.7	35.8	29.0	31.4	34.4	15.0
従業員 (今期の過不足)	<b>▲</b> 9.5	<b>▲</b> 14.3	<b>▲</b> 17.9	▲ 8.9	▲ 24.2	▲ 21.9	▲ 28.1	▲ 13.7	▲ 13.4	-
新規設備投資した割合	21.5	17.2	9.0	15.4	13.0	16.2	8.7	11.8	20.6	16.2



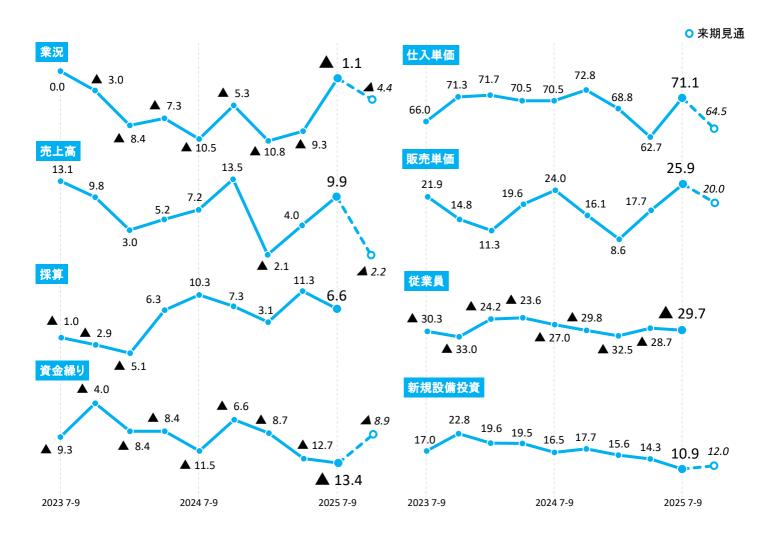
### サービス業

#### ■主なコメント

- ・運賃改定により収入は増加したが、経費も上昇していて、純利益は前年と変わらない。運転手確保が最優先の課題。
  - (一般乗合旅客自動車運送事業)
- ・観光シーズンに入り来場者数は回復しているが、物価高の影響で施設内での飲食やお土産の購入を控えるお客様が増え、 客単価が伸び悩んでいる。 (観光施設)
- ・今までは現金取引主体だったが、値上げをしたと同時にクレジット決済が多くなり、手数料や運転資金の確保等の出費で利益 に繋がらない。先行きを考えると、さらなる値上げを考えざるを得ない。 (理容業)

■D·I

	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	<b>2025</b> 10−12(見通)
業況 (前年同期比)	0.0	▲ 3.0	▲ 8.4	<b>▲</b> 7.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 10.8	<b>▲</b> 9.3	▲ 1.1	<b>▲</b> 4.4
売上高 (前年同期比)	13.1	9.8	3.0	5.2	7.2	13.5	▲ 2.1	4.0	9.9	<b>▲</b> 2.2
採算 (今期の経常損益)	<b>▲</b> 1.0	<b>▲</b> 2.9	▲ 5.1	6.3	10.3	7.3	3.1	11.3	6.6	_
資金繰り(前年同期比)	▲ 9.3	<b>4</b> .0	▲ 8.4	▲ 8.4	<b>▲</b> 11.5	▲ 6.6	▲ 8.7	<b>▲</b> 12.7	▲ 13.4	<b>▲</b> 8.9
仕入単価 (前年同期比)	66.0	71.3	71.7	70.5	70.5	72.8	68.8	62.7	71.1	64.5
販売単価 (前年同期比)	21.9	14.8	11.3	19.6	24.0	16.1	8.6	17.7	25.9	20.0
従業員 (今期の過不足)	▲ 30.3	▲ 33.0	▲ 24.2	▲ 23.6	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 32.5	▲ 28.7	▲ 29.7	_
新規設備投資した割合	17.0	22.8	19.6	19.5	16.5	17.7	15.6	14.3	10.9	12.0



### Ⅷ. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調 査 時 点

2025年9月

(2) 調查対象期間

2025年7~9月期実績及び2025年10~12月期見通し

### 2. 調查対象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

#### (2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。 また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

#### 3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査) 全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

### 4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合 計
小規模	39	59	39	58	67	262
中規模	13	15	17	10	25	80
合 計	52	74	56	68	92	342
構成比	15.2%	21.6%	16.4%	19.9%	27.3%	100.0%

#### 〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、 小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

### ■過去の調査結果はコチラ



【URL】 https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/

### D・Iとは…

本調査結果中の「D·I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加 (好転・上昇)企業割合から減少 (悪化・低下)企業割合を差引いた値 (景気動向指数)を示す。